

【いきさつ】



4月から、この写真のように上級生が1年生と一緒に登校してきてくれる光景があります。とてもほほえましく、「ありがと」って思わずいいたくなる場面です。

そんなある朝、いつものように横断歩道で立っていると、1年生と2・3人の3年生。よくよく見ていると、少し1年生を避けている様子。横断歩道を渡って昇降口に入る前に呼び止めてきてみました。

「なんか、1年生をさけていたみたいだけれど、どうした？」

「.....」

「宝物の1年生だよね。大事にしてほしいなあ」

「少し、しつこいからにげちゃった」

「そうか。校長先生さ、学校ではみんな家族みたいなものって話したよね。みんなは1年生にとってお兄さんや、お姉さんなんだから、やさしくしてほしいなあ」

はじめは仲良く一緒に歩いて来てくれていたそうですが、1年生が歩くのが遅かったり、何度も同じようなことをしてきたりしたので、最後は逃げるようなことになってしまったとのことでした。

次の日、このメンバーは1年生と仲良く登校をしてきてくれたのですが.....。

この日、その1年生の保護者の連絡帳を見せていただき、私、猛反省。

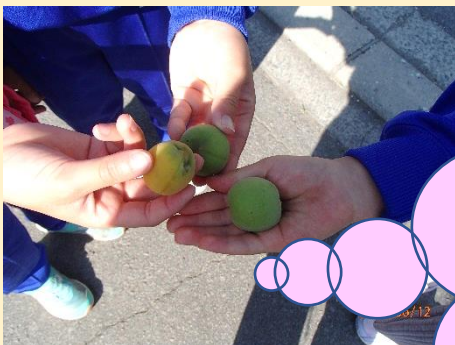
その連絡帳には

「いつも連れて行ってくれる6年生がいなくて不安になっていたら、3年生の子(知り合いではない子)と一緒にいこうと誘ってくれて、とても嬉しかったです」と感謝の言葉が綴られていました。

(あちゃあ〜(๑_๑))

再び、3年生のメンバーを呼んで、今朝、仲良く来てくれたことを誉め、はじめのうちは仲良く歩いて来てくれていたことも誉めました。

私が見ていたところは、ほんの一部。物事のいきさつもわからずに、こうやって子どもたちに話をしてしまうこと、しまったこと。きっと今までもたくさんあったんだろうなあと反省致しました。



登校途中に梅の実を拾ってきたようです。

そこで一言。

「校長先生、パフェみたいなにおいがするよ」

思わず嗅がせていただきました。

とってもフルーティなおいしそうなおいがしました。パフェの例えは見事です。